



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 極東証券株式会社
 コード番号 8706 URL <http://www.kyokuto-sec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 菊池 一広
 (氏名) 茅沼 俊三
 配当支払開始予定日
 TEL 03-3666-5130
 2020年11月25日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,439	80.4	4,405	81.5	1,995	—	2,214	550.8	1,533	665.5
2020年3月期第2四半期	2,460	—	2,427	—	12	—	340	—	200	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,870百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	48.06	—
2020年3月期第2四半期	6.28	—

(注) 2021年3月期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、2020年3月期第2四半期連結累計期間については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。また、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、表示方法の変更が行われたため、記載しておりません。詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	74,162	44,141	59.5	1,383.41
2020年3月期	68,471	42,749	62.4	1,339.78

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 44,132百万円 2020年3月期 42,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—

(注) 当社は業績予想を開示していないため、2021年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

当社は、連結業績予想の開示を行っておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(注)2020年9月30日現在、連結子会社は2社となっております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	32,779,000 株	2020年3月期	32,779,000 株
2021年3月期2Q	877,512 株	2020年3月期	877,512 株
2021年3月期2Q	31,901,488 株	2020年3月期2Q	31,901,497 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、連結業績予想の開示を行っておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
「参考資料」	10
1. 2021年3月期第2四半期連結決算資料	10
(1) 受入手数料	10
(2) トレーディング損益	10
(3) 連結損益計算書の四半期推移	11
2. 2021年3月期第2四半期決算資料	12
(1) 自己資本規制比率	12
(2) 役職員数	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、「当期」という。）の国内外の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により4月から6月の世界経済は大きく落ち込みました。その後も新型コロナウイルス感染症の感染再拡大はみられましたが、都市封鎖解除の増加や各国政府による未曾有の規模の財政政策もあり、世界的に景気は回復基調となりました。

株式市場は、景気に先行し9月上旬にかけて戻り相場となりました。新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や、景気回復鈍化の懸念が台頭する場面もありましたが、新型コロナウイルスワクチン開発の進展報道や経済対策への期待が勝りました。IT関連企業を中心に物色され、米国ナスダック指数は6月には史上最高値を更新しました。米大統領選の行方に注目が集まる中、9月は調整局面となりましたが、その後は値を戻しつつ当期を終えました。日本では、菅新政権がアベノミクスを継承したことや新政策への期待などから、日経平均株価は9月も底堅い動きとなりました。当期末の日経平均株価は3月末から22.6%上昇の23,185円で終わりました。

外国為替市場では、ドル円は7月31日に1ドル=104.60円まで円高が進む場面もありましたが、期を通じてみると比較的安定して推移し当期末は1ドル=105.80円で終わりました。他方、ユーロ円では円安となり当期末は1ユーロ=124.17円でした。

債券市場では、日本の10年国債は総じて落ち着いた動きとなりました。同利回りは一時的にプラスに転じる場面もありましたが、△0.005%で当期末を終えました。

なお新興国市場では、国により差はあるものの株式、為替、債券とも概ね戻り歩調でした。

こうした環境の中、当社は、お客さまの多様なニーズにお応えするため、「特色ある旬の商品」の提供に努めました。また、株主資本の効率的運用の観点から、積極的な財務運営も行っていました。その結果、当期の業績につきましては、営業収益44億39百万円（前年同期比180.4%）、純営業収益44億5百万円（同181.5%）、営業利益19億95百万円（前年同期は12百万円）、経常利益22億14百万円（前年同期比650.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億33百万円（同765.5%）となりました。なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、経営成績については当該表示方法の変更を反映した組替え後の前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の数値を用いて比較しております。

当期における収益等の内訳は次のとおりであります。

①受入手数料

「受入手数料」は、8億13百万円（前年同期比120.8%）となりました。内訳は以下のようになっております。

（委託手数料）

株券委託手数料は、5億14百万円（同144.3%）を計上し、これに受益証券（上場投信）委託手数料等を加えた「委託手数料」は、5億43百万円（同143.4%）となりました。

（引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料）

「引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料」は、6百万円（同58.0%）となりました。

（募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料）

「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は、受益証券（投資信託）の取扱いの減少により、1億60百万円（同95.3%）となりました。

（その他の受入手数料）

主に受益証券（投資信託）の代行手数料からなる「その他の受入手数料」は、1億2百万円（同89.7%）となりました。

②トレーディング損益

株券等トレーディング損益は、46百万円の利益（前年同期比172.4%）、債券等トレーディング損益は、29億57百万円の利益（同336.1%）、為替のデリバティブ取引を中心としたその他のトレーディング損益は、89百万円の利益（同124.8%）となりました。以上の結果、「トレーディング損益」は、30億93百万円の利益（同316.1%）となりました。

③金融収支

金融収益5億23百万円（前年同期比65.4%）から金融費用33百万円（同101.9%）を差し引いた「金融収支」は、4億89百万円（同63.9%）となりました。

④販売費・一般管理費

「販売費・一般管理費」は、24億10百万円（前年同期比99.8%）となりました。

⑤営業外損益

営業外収益は、受取配当金等合計で2億85百万円（前年同期比84.0%）を計上いたしました。一方、営業外費用は、為替差損等合計で66百万円（同559.6%）を計上し、「営業外損益」は、2億19百万円の利益（同66.9%）となりました。

⑥特別損益

特別利益は、投資有価証券売却益等合計で16百万円（前年同期は特別利益を計上しておりません）を計上いたしました。一方、特別損失は、固定資産除却損等合計で13百万円（前年同期比37.6%）を計上し、「特別損益」は、3百万円の利益（前年同期は34百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、558億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億17百万円増加いたしました。これは主に、預託金が22億59百万円増加したことによるものであります。固定資産は、182億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億74百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が31億48百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、741億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億91百万円増加いたしました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、285億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億97百万円増加いたしました。これは主に、預り金が42億84百万円増加したことによるものであります。固定負債は、14億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が8百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、300億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億円増加いたしました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、441億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億91百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が10億54百万円、その他有価証券評価差額金が3億36百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「業績予想を開示しない理由」

当社の連結営業収益は、証券市場に係る受入手数料及びトレーディング損益を柱としており、その大半が株式市場及び債券市場を源泉としております。株式・債券市場の好・不調による業績への影響を緩和するため、収益源の多様化を通じて収益の安定性確保に努めておりますが、それでもなお、業績が証券市場の動向に左右され、大きく変動する可能性があります。また、国内外の金融商品市場の急激な変動により、当社が保有している金融商品の評価損益が多額になる可能性もあります。

一般的に、証券市場や外国為替市場は、内外の政治・経済情勢、金利、企業収益等、様々な要因を反映して変動します。したがって、当社の連結業績を予想するためには、あらかじめこれら変動要因を予測しつつ将来の市場動向を的確に把握する必要がありますが、それを実現することは、不可能に近いのが実情でございます。こうした不確実な要因により予想と実績の間に大きな乖離が生ずる可能性の高い状況の中で、敢えて業績予想を開示することは、結果的に、市場に誤ったメッセージを発信することにつながりかねず、公正な株価形成を阻害する恐れがあります。

上述の理由から、当社は、連結業績予想の開示は行わず、その代替として業績数値の早期開示に努めることとし、連結業績の数値がほぼ確定すると考えられる期末又は四半期末から起算して10営業日を目途に、当該数値を速報値として公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	18,794	22,183
預託金	11,695	13,954
トレーディング商品	19,233	15,915
商品有価証券等	19,230	15,890
デリバティブ取引	2	25
約定見返勘定	271	635
信用取引資産	2,350	2,557
信用取引貸付金	2,267	2,300
信用取引借証券担保金	83	257
その他の流動資産	827	642
貸倒引当金	△1	△1
流動資産計	53,171	55,888
固定資産		
有形固定資産	1,999	1,955
建物	491	460
土地	1,175	1,175
その他	332	319
無形固定資産	83	74
投資その他の資産	13,216	16,244
投資有価証券	12,020	15,168
その他	1,230	1,146
貸倒引当金	△34	△71
固定資産計	15,299	18,274
資産合計	68,471	74,162
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	6	—
デリバティブ取引	6	—
信用取引負債	548	650
信用取引借入金	374	381
信用取引貸証券受入金	174	269
預り金	11,903	16,187
短期借入金	9,350	9,850
未払法人税等	15	473
賞与引当金	175	269
その他の流動負債	2,223	1,089
流動負債計	24,222	28,520
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
退職給付に係る負債	49	58
その他の固定負債	429	429
固定負債計	1,478	1,487
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	19	13
特別法上の準備金計	19	13
負債合計	25,721	30,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251	5,251
資本剰余金	4,774	4,774
利益剰余金	34,810	35,865
自己株式	△863	△863
株主資本合計	43,973	45,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,232	△895
その他の包括利益累計額合計	△1,232	△895
非支配株主持分	8	8
純資産合計	42,749	44,141
負債・純資産合計	68,471	74,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益		
受入手数料	673	813
委託手数料	379	543
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	10	6
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	168	160
その他の受入手数料	114	102
トレーディング損益	978	3,093
金融収益	799	523
その他の営業収入	9	9
営業収益計	2,460	4,439
金融費用	33	33
純営業収益	2,427	4,405
販売費・一般管理費		
取引関係費	265	255
人件費	1,472	1,416
不動産関係費	241	238
事務費	270	274
減価償却費	44	44
租税公課	70	96
貸倒引当金繰入額	—	36
その他	51	47
販売費・一般管理費計	2,415	2,410
営業利益	12	1,995
営業外収益		
受取配当金	139	194
投資事業組合運用益	25	55
為替差益	100	—
その他	75	35
営業外収益計	340	285
営業外費用		
為替差損	—	60
あっせん和解金	10	5
その他	0	0
営業外費用計	11	66
経常利益	340	2,214

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10
金融商品取引責任準備金戻入	—	5
特別利益計	—	16
特別損失		
投資有価証券売却損	34	1
固定資産除却損	0	11
特別損失計	34	13
税金等調整前四半期純利益	305	2,217
法人税、住民税及び事業税	109	432
法人税等調整額	△3	251
法人税等合計	105	684
四半期純利益	200	1,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	200	1,533

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	200	1,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△369	336
その他の包括利益合計	△369	336
四半期包括利益	△169	1,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169	1,870
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前連結会計年度までは、外貨建投資有価証券の為替リスクを回避する目的で実行する為替予約に係る為替差損益については、「金融収益（金融費用）」に含めて表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「営業外収益（営業外費用）」の「為替差益（為替差損）」として表示をしております。

これは、当社グループが株主資本の効率的運用の観点から、積極的な財務運営を行っている中で、従来より、外貨建投資有価証券により発生する運用損益は営業外損益として計上しており、当該為替差損益を営業外損益に計上することによって、外貨建投資有価証券の運用成果をより明瞭に表示できるものと考え、連結損益計算書上の表示区分を変更したものであります。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「金融収益」に表示しておりました100百万円を「営業外収益」の「為替差益」として組み替えております。

「参考資料」

1. 2021年3月期第2四半期連結決算資料

(1) 受入手数料

①科目別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減		前連結会計年度
			金 額	増減率 (%)	
委託手数料	379	543	164	43.4	833
(株券)	(356)	(514)	(157)	(44.3)	(784)
(債券)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
(受益証券)	(22)	(29)	(6)	(29.7)	(49)
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	10	6	△4	△42.0	23
(株券)	(10)	(6)	(△4)	(△42.0)	(23)
(債券)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	168	160	△7	△4.7	318
その他の受入手数料	114	102	△11	△10.3	226
合 計	673	813	140	20.8	1,401

②商品別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減		前連結会計年度
			金 額	増減率 (%)	
株券	369	523	153	41.7	812
債券	0	0	△0	△7.6	0
受益証券	294	271	△23	△7.9	569
その他	8	18	9	108.0	20
合 計	673	813	140	20.8	1,401

(2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減		前連結会計年度
			金 額	増減率 (%)	
株券等	27	46	19	72.4	△273
債券等	879	2,957	2,077	236.1	1,124
その他	71	89	17	24.8	△70
合 計	978	3,093	2,114	216.1	780

(3) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	前第3四半期	前第4四半期	当第1四半期	当第2四半期
	2019. 7. 1	2019. 10. 1	2020. 1. 1	2020. 4. 1	2020. 7. 1
	2019. 9. 30	2019. 12. 31	2020. 3. 31	2020. 6. 30	2020. 9. 30
I 営業収益	629	2,087	△878	2,066	2,372
1. 受入手数料	323	358	370	409	404
2. トレーディング損益	△122	1,344	△1,542	1,409	1,683
3. 金融収益	423	381	288	242	280
4. その他の営業収入	4	4	4	4	4
II 金融費用	18	15	16	14	19
純営業収益	610	2,072	△894	2,052	2,353
III 販売費・一般管理費	1,159	1,231	1,235	1,195	1,215
1. 取引関係費	140	119	129	117	138
2. 人件費	687	757	745	695	720
3. 不動産関係費	130	126	147	114	123
4. 事務費	133	133	133	134	139
5. 減価償却費	22	23	24	22	22
6. 租税公課	24	39	5	47	49
7. 貸倒引当金繰入額	—	—	—	36	△0
8. その他	20	30	49	25	21
営業利益又は営業損失 (△)	△549	841	△2,129	856	1,138
IV 営業外収益	203	58	143	111	174
V 営業外費用	8	0	0	26	39
経常利益又は経常損失 (△)	△354	899	△1,986	941	1,273
VI 特別利益	—	2	2	7	8
VII 特別損失	—	15	24	11	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△354	886	△2,008	937	1,280
法人税、住民税及び事業税	△74	218	△278	136	296
法人税等還付税額	—	—	△15	—	—
法人税等調整額	△26	32	△318	156	94
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△253	635	△1,396	643	889
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	0	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△253	635	△1,396	643	889

(注) 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、前第2四半期、前第3四半期及び前第4四半期については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。

2. 2021年3月期第2四半期決算資料

(1) 自己資本規制比率

(単位：百万円)

		前第2四半期末	当第2四半期末	前事業年度末
基本的項目 (A)		40,886	39,877	38,653
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等	66	—	—
	金融商品取引責任準備金	19	13	19
	貸倒引当金	1	1	1
	計 (B)	86	15	20
控除資産 (C)		5,416	8,396	7,453
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (D)		35,557	31,496	31,221
リスク相当額	市場リスク相当額	4,655	3,600	3,396
	取引先リスク相当額	201	233	192
	基礎的リスク相当額	1,254	1,203	1,202
	計 (E)	6,111	5,037	4,791
自己資本規制比率 (D) / (E) × 100 (%)		581.8%	625.1%	651.6%

(2) 役職員数

(単位：人)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前事業年度末
役員	10	10	10
従業員	237	241	230